

平成22年度事業計画書

I. 事業計画

(1) 研究発表会、講演会の開催（定款5条1号）

平成22年度予定。研究発表会を2回開催する。なお、経営工学100周年周期記念行事を大会に併設して開催する。

春季大会

日 時 5月15日(土)～16日(日)

場 所 日本大学経済学部

テーマ 「科学的管理の分水嶺」

大会組織委員長 大場允晶

経営工学会創立60周年記念討論会・講演会

日 時 5月14日(金) 10:00～19:00

場 所 ベルサール神保町

テーマ 「人間中心の社会的・経済的イノベーション
に向けて」

組織委員長：渋谷貞雄

秋季研究大会

日 時 10月23日(土)～24日(日)

場 所 福岡工業大学

テーマ 「ひとづくりの経営工学」

大会組織委員長：赤木文男

(2) 学会誌、その他の刊行物の発行（定款5条2号）

日本経営工学会論文誌「Journal of Japan Industrial Management Association」

Vol.61 No.1～No.6, No.3E, No.6E を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成22年4月15日	61	1	1,800
平成22年6月15日	61	2	2,100
平成22年8月15日	61	3, 3E	2,100
平成22年10月15日	61	4	2,100
平成22年12月15日	61	5	2,100
平成23年2月15日	61	6, 6E	2,100

経営システム「Communications of JIMA」 Vol.20 No.1～No.6 を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成22年4月15日	20	1	2,100
平成22年6月15日	20	2	2,100
平成22年8月15日	20	3	2,100
平成22年10月15日	20	4	2,100
平成22年12月15日	20	5	2,100

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款 5 条 3 号)

学会賞、論文賞、論文奨励賞、特別賞（経営システム賞、経営工学実践賞、優秀学生賞）の選考、授賞を執り行う。

(4) 調査、研究、見学及び視察 (定款 5 条 4 号)

平成 21 年度の事業を踏襲し、引き続き支部、研究部会で活動を行う。

各支部

各支部ごとに研究会・講演会・見学会等を企画し開催する。

平成 22 年度の研究部会

(継続)

「KAIZEN and ERGONOMICS」研究部会

主査：三澤 哲夫（千葉工業大学）

「循環型サプライ・チェーン」研究部会

主査：開沼泰隆（首都大学東京）

「予測市場と集合知活用」研究部会

主査：水山 元（京都大学）

(新設)

「知的財産マネジメント」研究部会

主査：加藤浩一郎（金沢工業大学）

「若手研究者による IE 探究」研究部会

主査：竹本 康彦（県立広島大学）

「MOT」研究部会

主査：豊島 文雄（(株)1. 1 0. 1 0 0 経営）

(5) 内外の関連機関との連携及び交流 (定款 5 条 5 号)

- 1) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への協力と情報発信
- 2) 経営工学関連組織（日本IE協会・日本技術士会等）との連携行事活動と情報発信
- 3) 本学会への協賛・共催への対応とホームページでの案内・周知
- 4) 経営工学に関連する国際会議のJIMAホームページ上での会員向け案内の継続
- 5) 経営システム誌への国際会議報告掲載
- 6) IFPR(ICPR)の情報提供促進
- 7) APIEMSの情報提供促進
- 8) 日本技術士会とのCPD活動等における連携促進

(6) その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款 5 条 6 号)

特になし

II. 会議に関する事項

(1) 通常総会

平成 22 年 5 月 15 日（土）（年 1 回）開催予定。

(2) 理事会

平成 22 年 6 月、7 月、9 月、11 月、平成 23 年 1 月、3 月（年 6 回）開催予定。

(3) 各種委員会

1. 庶務委員会

年 6 回程度の委員会を開催し、以下の事項を検討及び実行する。

- 1) 一般社団法人日本経営工学会の規程類の整備
- 2) ホームページの改正（新 HP 提案）
- 3) 社員総会の運営

2. 研究委員会

年 4 回程度の委員会を開催し、研究部会の改革，研究部会の承認と補助金額の査定などについて審議する。

3. 日本経営工学会論文誌編集委員会

年 12 回程度の委員会を開催し、日本経営工学会論文誌の発行を推進する。

4. 企画・行事委員会

- 1) 経営工学会創立 60 周年・経営工学 100 年周期記念
行事を開催する。
- 2) 経営工学ビジョン策定を推進する。

5. 会員委員会

- 1) 会員増強方策の検討
- 2) 賛助会員向けサービスの検討
- 3) 学会 PR 用メディアの検討

6. 財務委員会

- 1) 監査会
- 2) 四半期毎の伝票検査と試算表の確認
- 3) 予算案の編成
- 4) 法人化移行時における計算書類等の検討
- 5) 公的目的支出計画の検討

7. 大会委員会

年 4 回の委員会を開催し、研究発表会、講演会等の円滑な推進を図る。

8. 表彰委員会

年間3～4回の委員会を開催し、学会賞、論文賞、論文奨励賞、特別賞の各候補の推薦方法を検討し、各賞受賞候補者(案)を決定し、理事会に諮る。

9. 国際・渉外委員会

- 1) 経営工学に関連する国際会議の JIMA ホームページ上での会員向け案内の継続
- 2) 日本経営工学会への協賛・共催への対応と国内での協賛・共催学会のホームページでの案内・周知
- 3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への積極的参画と JIMA からの情報の提供・発信
- 4) APIEMS 活性化への協力・支援、特に年次大会の周知徹底および IEMS ジャーナルへの論文投稿と定期購読の推進
- 5) IFPR(ICPR)の情報提供促進
- 6) IE 協会との連携活動支援策活動の継続
- 7) 経営システム誌への国際会議報告掲載
- 8) KIIIE から講師を招聘し、国際シンポジウムを開催（予算：30 万円）

10. JIMA/JABEE 委員会

年2回程度の委員会開催と JABEE からの案内・情報の発信

11. 経営システム誌編集委員会

- 1) 年間6冊の発行を推進する。
- 2) 著作権規定の整備および、CiNii 等学術データベースでの論文公開事業の促進。

12. 支部委員会

- 1) 年2回の委員会を開催し、各支部の事業計画と支部
交付金・企画事業等の検討
- 2) 支部長との懇談会による支部活動の活性化支援
- 3) 公益法人化に伴う支部のあり方に関する検討

13. FMES 特別委員会

- 1) FMES 代表者会議への出席
- 2) FMES 事務局の引き受けへの対応について

III. 収支予算

(1) 収入の部

(2) 支出の部

平成22年度予算書